

市政ニュース

市民に愛される「城崎分署」を目指して 豊岡消防署城崎分署開署式挙行

平成24年度から城崎小学校の南側で整備を進めていた豊岡消防署城崎分署の新庁舎が完成し、4月27日、開署式を行いました。

旧庁舎は、建築から45年が経過し、老朽化が著しく、十分な訓練スペースがありませんでした。

新庁舎は、城崎温泉街の景観との調和に配慮し、和瓦仕様の屋根など、外観には随所に和の基調を取り入れました。また屋上や外壁などでは、救助訓練やしご登はん訓練



▲開署式のテープカット



▲新しくなった豊岡消防署城崎分署

を行うことができます。単に消防署としての機能だけでなく、災害に対応するための資機材や非常食などを保管する防災倉庫や、消防団の車庫も併設するなど、文字通り「豊岡市北部の防災拠点」としての役割を担います。



▲豊岡市城崎消防団第3分団車庫

豊岡ブランドをさらに高める 市芸術文化参与に平田オリザさん就任

本市の芸術文化参与に、劇作家・演出家の平田オリザさんが就任しました。

本市の芸術文化政策の基本戦略と最先端の芸術文化による若者の誘引戦略に、アドバースをいただきます。

また城崎国際アートセンターの芸術監督を兼務していただき、豊岡の芸術文化の国際



平田オリザさん

平成27年度から3年間

【就任期間】

的戦略拠点として、城崎国際アートセンターを育てていただきます。

災害時の段ボール製品の 調達に関する協定を締結

4月15日、災害時における避難所の住環境を向上させるため、ナガイパックプラン(株)およびセツカートン(株)と段ボール製品の調達に関する協定を締結しました。



▲段ボール製の簡易ベッドとトイレ

災害時に市の要請により段ボール製のベッドや間仕切りなど、工具なしで組み立てることができる物資の供給を受けます。

▲(左から)ナガイパックプラン(株)会長永井清秀さん、中貝市長、セツカートン(株)社長丹羽俊雄さん

主な市政の動き

- 〔4月〕
 - 15日・東京デイズニーリゾート表敬訪問
 - ・ナガイパックプラン(株)・セツカートン(株)と「災害発生時ににおけるダンボール製品の調達に関する協定」締結
 - ・ウイットマン中学校国際交流体験学習使節団来訪(20日)
- 18日・新豊岡市誕生10周年記念式典
- 19日・市民みんなのパレード
- 20日・日高消防団消防初出式
- 22日・教育総合会議
- 22日・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(24日)
- 23日・春季市政懇談会(23日・出石、24日・竹野、27日・城崎、30日・日高、5月1日・豊岡、8日・但東)
- 27日・豊岡消防署城崎分署開署式
- 27日・豊岡消防署城崎分署開署式
- 27日・豊岡消防署城崎分署開署式
- 〔5月〕
 - 11日・水道まつり

市民みんなのパレードではディズニーマウスのハピネスを感じて

東京ディズニーマウスが市長を表敬訪問

新豊岡市誕生10周年記念事業「市民みんなのパレード」に参加するため、東京ディズニーマウス・アンバサダー（注）の今枝李衣奈さんとミッキーマウス、ミニーマウスが、市長を表敬訪問しました。今枝さんは、記念品として、市長にミッキーマウス、ミニ



市長と今枝さんの会談

子どもが元気に育つまち・子育てが楽しいまち豊岡 「豊岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定

子ども・子育て支援法に基づき、平成27年度から子ども・子育て支援制度が開始さ



豊岡市子ども・子育て支援事業計画

れられました。市では、平成27年度から31年度までの5年間の計画期間とした「豊岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画は、本市の子ども・子育て家庭の現状と課題、潜在的なニーズを踏まえて策定されています。基本理念を「子どもが元気に育つまち・子育てが楽しいまち豊岡」、基本目標を「すべての子どもが笑顔で育つ」「親が子育てを楽しみ」「地域と職場が支えあう」と定めま

- 基本理念を実現するために、次の八つの取組みを進めます。
- 子どもの健やかな成長に資する教育・保育環境の確保
- 子ども・子育て支援事業の充実
- 地域で支える子育て支援の充実
- 母子保健と子どもの医療体制等の充実
- 社会的養護、支援の必要な子どもの支援
- 仕事と子育ての両立の推進
- 安全・安心な子育て環境の整備
- 次代の親の育成支援

中貝市長の徒然日記 ㊦

ディズニーマウス 顛末記

平成25年1月、ある市民の方から届いたメッセージが始まりでした。「ディズニーマウス30周年に合わせて、全国30カ所ディズニーマウスが開催されるようです。豊岡に呼ばれますか?」「可能性を探ってみます」と返事をし、市の大交流担当に電話を入れました。この点、市長は言うだけで済むので、気楽なものです。言い付けられた方は、大変

なりました。コウノトリの話もお聞きになり、豊岡に気に入っていただいで、パレードはOKになりました。今年はずうど市制10周年。舞台は、その記念イベント「市民みんなのパレード」と決まりました。人出の予測をプロに求め、警備について警察と厳しい協議を行い、沿道の店舗等の了解を得、JRやバスの増発を依頼し、職員の動員計画を立て、テルテル坊主に祈り、そして当日。

です。どこに電話したらいいのか分かりません。相手にしてもらえないのかも分かりません。職員は、転々とつてを頼り、最後はある新聞社の浦安支局長からついにディズニーマウスの窓口にとどりました。30周年関連のパレードは、既に会場が決まっています。しかし、費用はいりますが、市の何かの祭りの応援に来ていただける可能性はあるということが分かりました。

子どもたちに夢を。職員の情熱が通じ、担当者が豊岡にお越しになり、まちをご覧に。その後、市役所市民広場の式典では、開始と同時にコウノトリが上空を舞いました。先日、但東町で若い女性に声を掛けられました。「ディズニーマウス、ありがとうございます。子どもがダンスチームで出場し、夢がかないました」良かった。やったかいがありました。あ、いえ、僕はただ言い付けただけでした。